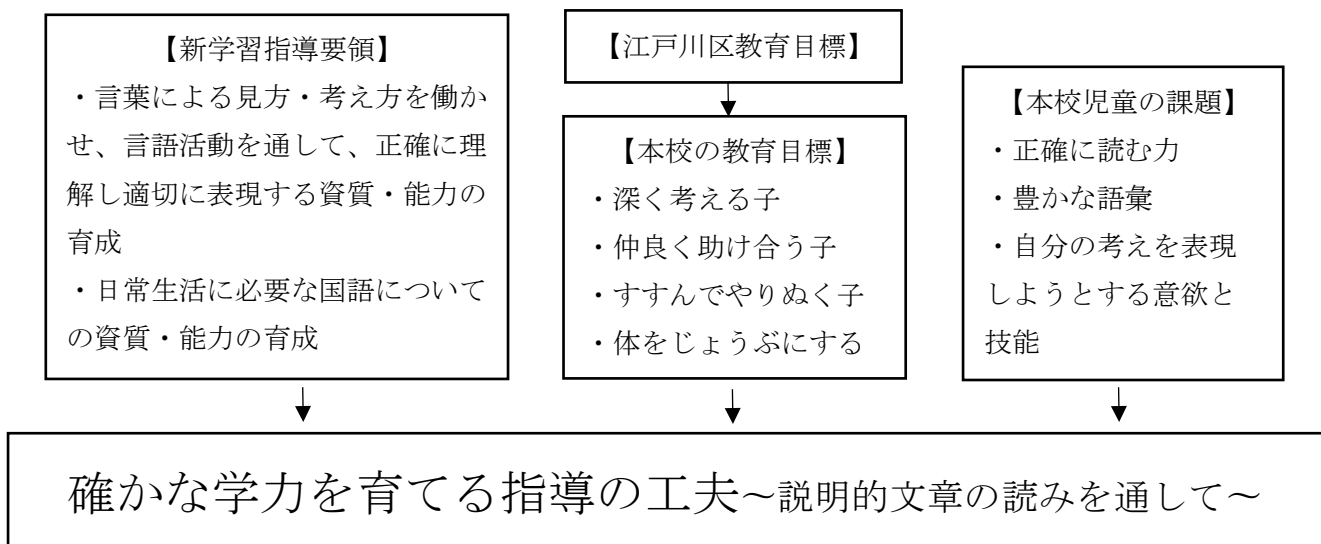


研究構想図



【確かな学力 ～説明文の読み～】

学びへ向かう力

○学習目的を意識して主体的に読む態度・意欲

知識・技能

○文章の中心を読み解く力

思考・判断・表現

○読み取ったことをもとに自分の考えを表現する力

【目指す児童像】

1・2年	順序を考えながら、内容の大体を捉え、自分の感想をもつことができる児童
3・4年	目的を意識して、話の中心を読み取り、自分の考えを表現できる児童
5・6年	文章全体の構成を捉え、読み取ったことに基づいて自分の考えを広げることができる児童

【研究仮説】(R6)

○学習の目的を最初に伝えることで、主体的に読む態度が育つだろう。

(学びに向かう力)

○大事な言葉や構成などを視覚的に整理することにより、文章の中心を読み解く力が育つだろう。

(知識・理解)

○自分の気になったところや必要などところに注目させることにより、自分の考えを表現できる児童が育つだろう。

(思考・判断・表現)

【研究内容】

① 文章の中心を読み解く力を育むための指導の工夫

② 読み取ったことをもとに、自分の考えを表現する力育むための指導の工夫

③ 主体的に取り組むための学習目的の設定 (ゴールの明確化)